



雷塚小学校演奏会 音楽が繋ぐ地域交流

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は5月10日、武蔵村山市立雷塚小学校において、東部方面音楽隊の支援を受けて、音楽演奏会による自衛隊の広報活動を行った。

今回の演奏は、子供達に自衛隊音楽隊の音楽に触れてほしいとPTAからの申し出によるほか、仕事のひとつとして「音楽を通しての自衛隊」を知るきっかけとなるようにと学校の依頼を受けて実施した。

演奏会場の体育館には、約300名の子供達と約50名の保護者が、今か今かと目を輝かせて待っていた。開演時間になると、雷塚小学校副校長による東部方面音楽隊の紹介とともに、颯爽と演奏服に身を包んだ音楽隊が入場し、人気のアニメ「名探偵コナン」から行進曲、振り付けも加えた楽器紹介、指揮体験等、工夫を凝らした内容で約1時間の演奏は終始盛り上った。最後は、生徒代表からの花束贈呈サプライズに、音楽隊も笑顔で応えていた。また、アンコールの声や拍手が止まず、アンコール曲YOSOBの「アイドル」で幕が閉じた。

保護者の方からは「素晴らしかった」「または非演奏会を実施して欲しい」「素敵な演奏会でした」等の絶賛の声や、生徒達からも「また来てほしい」「知らない曲も楽しかった！」等、演奏会の終了を惜しむ声が聞かれた。

立川出張所は、今後も地域の学校、PTA、子供達の目線に立ちながら自衛隊の活動に対する理解と関心を高めていくとしている。



「東京みなと祭」で広報活動を実施

自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は5月18日及び19日、江東区に所在する東京国際クルーズターミナルにおいて開催された「第75回東京みなと祭」へ参加し、護衛艦「おおよど」（艦長 河野大輔2海佐）の一般公開と連携して広報ブースを出展した。

本イベントは、東京みなと祭協議会の主催で東京港が国際貿易港として開港したことを記念して行われているイベントであり、2日間で約2万6千人が訪れた。「おおよど」の一般公開には両日とも長蛇の列ができ、約7千6百人が乗艦するなど大人気で、乗艦者は普段見ることが出来ない甲板の様子や、乗員による「ラッパ」の吹奏などを見て大いに楽しまれていた。

東京地本は、「おおよど」が開されている岸壁に広報ブースを出展し、ガラボン抽選会と迷彩服・制服の試着コーナーを実施した。ガラボン抽選券を手にした家族連れなど多数の来場者が訪れ、抽選結果に一喜一憂したり、迷彩服・制服を試着した子供たちは、東京地本のマスコットキャラクター「トウチ君」と記念写真を撮る等、記念行事開始から終了まで盛況で多くの方に楽しんでもらうことができた。

特にガラボン抽選会で1等賞が当たった方しか参加できない「おおよど」の特別艦艇ツアーは大変好評で、参加者からは、「非日常感溢れる船内を見学できて貴重な体験になった」「隊員の方が実際に働く姿がとても格好良かった」といった声が聞かれた。

